

熊本県立大学

國文研究

第六十四号

二〇一九年七月

目次

- 『夜の寢覚』論 安武佑梨…… 1
——「場」からみる人物造型——
- 延慶本『平家物語』〈大政入道他界事〉と『宝物集』 富永侑里…… 15
- 〈黒船〉言説の誕生 姫野華菜…… 25
- 神戸市立博物館蔵、有志筑忠雄序「万国管闕」について 大島明秀…… 51
- 福岡県大牟田市方言における待遇表現について 中島春花…… 94(1)

編輯後記

第六十四号をお届けします。本号には、教員・大学院生各一名、および前年度の卒業論文を元にした（教員推薦）論考三本の寄稿がありました。内容の多彩さは十分に誇れるものと思います。

本誌は熊本県立大学日本語日本文学科教員が編輯し、同大日本語日本文学会にて発行しています。熊本県立大学日本語日本文学会は同学科教員・在学生（大学院生含む）・卒業生の有志を会員とし、年会費として教員二千元・他の方は千円を徴収します。（在学生分は入学当初に一括徴収）

寄稿は会費を納入している同会会員に限ります。寄稿を希望する場合・会員資格の有無（会費納入状況）が分からない場合は、熊本県立大学日本語日本文学科へ御連絡ください。

本号より、年表記を西暦に改めました。改元を機に元号を消去するというのも妙なものです。天皇代替りによって社会全体の時間が更新されたとしても言うような、メディアを中心に世に溢れる安易な言説に対するささやかな批判にもなりませうか。

またそれとは全く関係ない、留まらない時代の推移の結果、本号分より印刷経費が騰貴しました。本学会の台所事情はますます苦しくなりつつあります。会員諸氏の御協力を何卒宜しくお願い申し上げます。（G）

「国文研究」 第六十四号

印刷 二〇一九年七月十六日

発行 二〇一九年七月二三日

編集・発行

熊本県立大学日本語日本文学会

熊本市東区月出三丁目一番一〇〇号

印刷 (株)啓文社

☎ 〇九六一三六八一八一〇〇